

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>腎組織に IgA 沈着を認める症例における糖鎖欠損 IgA1 の有無を検討する研究実施計画書</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 小児科 (研究責任者) 諸橋環</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2019 年 7 月 31 日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>IgA 腎症は日本で多くみられる慢性腎炎のひとつです。IgA 腎症の原因は腎臓に IgA が沈着することによって起きることがわかっていますが、なぜ沈着するのかはまだわかりません。また、IgA 腎症の診断には腎生検が必要で、腎組織の所見によって診断されますが、なかには IgA 腎症とよく似ている組織所見を示す例があり、診断に難渋することがあります。この研究は、糖鎖欠損 IgA1 という特殊な IgA を染色する方法を用いて、腎組織に沈着する IgA が糖鎖欠損 IgA1 であるのか否かをみることにより、IgA の発症機序を解明し、IgA 腎症の診断をより正確に行えないかということをお児の患者さんにおいて検討することを目的としています。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>診断目的に行った腎生検検体の一部を使います。研究のために追加で検査をすることはありません。</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>西暦 2013 年 4 月 1 日～西暦 2018 年 6 月 30 日の期間に当院小児科に入院でされ腎生検を行った方が対象です。</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>当院に保管している腎生検検体を用いて、IgA 腎症または IgA が腎組織で陽性であったと判断された検体に対して、糖鎖欠損 IgA1 に対する抗体を用いて腎組織の染色を行います。また、カルテに記載されている情報(年齢や性別、組織診断や腎病理所見の詳細)を取得します。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>小児科 氏名: 諸橋環</p> <p>電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2442</p>